

## 平成28年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略 推進協議会会議録（要旨）

- 開催日時 平成29年2月27日（月） 午後3時～午後5時28分
- 開催場所 府中市役所北庁舎3階第1会議室
- 出席委員 11名  
都留会長、鬼山委員、加藤委員、川崎委員、栞野委員、嵯峨委員、  
鈴木委員、中島委員、藤田委員、堀江委員、森委員
- 欠席委員 1名  
並木副会長
- 出席説明員等  
町田政策総務部長、矢ヶ崎政策課長、板橋政策課長補佐、大木主査
- 傍聴者 なし
- 議事日程
  - 1 開会
  - 2 確認事項
    - (1) 第1回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会会議録（要旨）について
  - 3 審議事項
    - (1) 具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価について
  - 4 その他

## ■ 会 議 録 (要旨)

○会 長 ただいまから、平成28年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を始めます。本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。

○事務局 (出席状況の報告)

○会 長 傍聴希望について、事務局から状況報告をお願いします。

○事務局 本日は傍聴希望がありませんでした。

○会 長 本日の配布資料について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 事前郵送及び本日配布した資料について説明いたします。

(配布資料の確認・説明)

○会 長 事務局から説明があったとおり、私の希望で「わたしの便利帳」を配布してもらいました。この冊子は、府中市の施設情報や施策などがまとまっているため、今後、本協議会で施策の評価等を審議するに当たり、各委員の参考資料として活用できると思いますので、ぜひ一度内容に目を通してみてください。

### 【確認事項】

○会 長 「第1回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会会議録(要旨)」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 事前に送付した会議録(案)について、特に修正依頼はありませんでした。このため、本日の会議で了承いただければ、会議録として確定し、公開の手続きを進めたいと考えております。

○委員一同 (了承)

○会 長 それでは、一部文言を修正してもらい、事務局は公開の手続きを進めてください。

## 【審議事項】

○会 長 「具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価」について、委員の皆様には事前に事務局から送付されました、担当課が作成した資料2の評価票の内容についてご確認いただいていると思いますので、まずは施策を担当する委員から意見等をご発言いただき、その後、他の委員からの意見等をご発言いただく、という流れで審議を進めたいと思います。

施策を担当する委員は、評価票を確認した上で、担当課の評価や取組内容についてどう感じたか、どう考えるか、といった意見をご発言いただき、更に本協議会の評価として「A、B、C」のどれが妥当であるか、についてもご発言をお願いします。

○担当委員 私が担当した施策「市内企業の経営支援」について意見等を述べます。

- ・「融資実行件数」が減少している原因は、そもそも申込件数が減っていることにあると考えられるため、事業のPRに努めるべきである。
- ・「商店街イベント事業補助金交付商店会数」は増えているため、このまま事業を継続して実施すれば良いと思うが、アドバイザーの派遣が行われた上での実績値なのか判断できなかった。
- ・「技術相談を行った件数」は微減しているが、平成27年度には3社の新製品・新技術開発に対して補助する結果に繋がっているという補足説明もあったため、事業は継続して実施すれば良いと思う。  
平成28年度における取組の記載に「制度の趣旨に合った目的や対象の見直し」とあるが、この文章表現では目的外での申請があったように捉えられかねないため、修正した方が良い。  
また、現在は人材交流に係る事業は実施していないという補足説明であったが、更なる活性化に向けて必要だと思うため、実施に向けて検討してほしい。
- ・本協議会の評価は「B」が妥当であると考えます。

○事務局 アドバイザー派遣の関係及び文章表現の修正への回答については、担当課に確認の上、後日提示させていただきます。

○委 員 評価の方法について確認させてもらいますが、本協議会においてはK P Iや取組について直接的に評価する方法ではなく、あくまで担当課が示している進捗状況評価の内容が妥当であるかどうかの視点に立って評価するという認識で良いのでしょうか。

○事務局 今年度の第1回会議において評価方法についてご審議いただき、決定しておりますが、担当課は各年度におけるKPIの実績や様々な取組を評価として記載しておりますので、ただいま委員からご指摘のあったとおり、本協議会では担当課評価に対する意見及び評価をお願いしたいと考えております。

○会長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「多様な人材の就労支援」について意見等を述べます。

- ・「いきいきワーク府中の就職率」が5ポイント程度減少している原因が知りたい。また、その就職率の算出方法も教えてほしい。

なお、目標値が36.8%のため、平成27年度の27.2%という実績では担当課評価が「C」となっているが、ハローワークで把握している60歳以上の就職者数を新規求職者数で割った数値は、今年度の1月末現在で府中市が24.1%、東京都全体で29.6%であることから、府中市の実績数値と比較すると3.1ポイント上回っていることになるため、市の取組は評価できるものと考えている。

- ・「女性向け再就職支援の講座数」は5回実施とあるが、具体的な内容を知りたい。また、講座後に商工会議所と連携した面接会なども実施していると思うが、そのような実績を取組内容に追記した方が良いのではないか。

講座の実施、その後の面接、ワークライフバランスの取組に係る啓発など、女性の再就職への動機付を行っていることから、非常に効果的な取組として評価できると思う。

- ・本協議会の評価は「B」が妥当であると考えている。

○事務局 就職率につきましては、ハローワークにおける算出方法と同様で、就職者数を新規求職者数で割った数値になります。また、女性の再就職支援の具体的な内容としましては、女性センターを所管している市民活動支援課が東京都の補助を受けながらワークライフバランスを中心とした取組を行っておりますが、その他の内容は担当課に確認の上、後日提示させていただきます。

○会長 今の段階で指摘することではないと思いますが、「多様な人材の就労支援」という施策において、高齢者と女性向けの内容しか記載されていないことに疑問を感じます。

○委員 他の評価票では、K P I の項目以外の取組内容も記載されている場合があるため、「多様な人材の就労支援」についても実施している取組があれば補足的に記載しても良いと思います。

○事務局 「多様な人材の就労支援」の項目では、昨年度の総合戦略策定段階におきましても、ハローワークがある中で、市はどこまで就労支援に関する事業を実施すべきなのか、といった議論があったものと記憶しております。このため、K P I としましては、現在、市が取り組んでいる内容を記載しておりますが、施策概要には「若い世代の就業機会の拡大」といった文言も入れておりますので、今後、担当課においてK P I の項目以外の事業を開始した段階で、その取組内容も記載していきたいと考えております。

○会長 他にご意見がなければ、次の施策「起業・創業の支援」の審議に入りたいと思いますが、担当する委員は本日欠席となっておりますので、事務局から説明をお願いします。

○事務局 施策「起業・創業の支援」を担当されている委員の意見等を代弁させていただきます。

- ・ 起業・創業と合わせて第二創業の支援を積極的に推進するとともに、様々な「しごと」の場を増やすことで、働き手が留まり、働き手が集まる街を目指すことで、昼間人口の増加に努めてもらいたい。
- ・ 本協議会の評価は「A」が妥当であると考えている。

○委員 このケースはK P I の実績数値がしっかりと増えていることから、成果が出ている施策として評価すべきだと思う。このため、本協議会で評価している部分はもう少し具体的に記載しても良いのではないか。

○会長 今のご意見は、担当課の取組内容等に対する評価を記載した上で、不足する点や期待したい点などを指摘する、という2段落構成で評価するイメージだと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 担当課の評価として、平成27年度の取組と平成28年度の取組が記載されているため、字数が多くなることは懸念されるが、本協議会の評価としても、平成27年度と平成28年度の取組についてそれぞれ言及し、その上で、総括的に次年度以降に向けて期待を含めた文言で締める、といった構成も考えられる。

○会 長 施策によって、その評価の記載内容のボリュームも変わってくるため、本日はこのまま評価票の確認を進めて、次回の会議では、全体のバランスを見て考えたいと思います。

○会 長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進」について意見等を述べます。

- ・「京王線府中駅における1日の乗降人員」は増えているため、市の魅力が高まっていることから来訪者、居住者が増加している、と捉えれば評価できると思う。
- ・「市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合」は微減しているが、具体的な取組として、市内外のイベントにおけるPRブースの出店や、広報紙、テレビ、メール配信、ホームページ、ツイッターなど様々な媒体を通じて情報を発信していること、また、駅前案内板の多言語化といった内容があるため、今後の観光客や居住者を増加させるための重要な取組として評価できる。ただし、どうすれば情報を受け取ってもらえるのかといった点は担当課に検証してもらう必要があると考える。
- ・本協議会の評価は「B」が妥当であると考えます。

○会 長 「京王線府中駅における1日の乗降人員」の実績が増えていることから評価はAとなっているが、近年の人口増加により府中市在住で通勤のために府中駅を使う人が増えることは明らかであり、府中市外からの来訪者が実際に増えているのかわからない状況であることから、評価することが難しいと思います。

○担当委員 KPIについて、目標が「現状値以上」の場合は、現状値を上回る実績が出ていれば評価「A」になるものと認識しています。

○会 長 このKPIは目標が達成できていることから、「目標達成に向けて順調に推移している」という評価の基準には当てはまる。しかし、そもそもこの指標を設定した理由は「市の魅力を発信し、来訪者の増加を図ること」であるため、私はこの実績は人口の自然増に起因していて、来訪者が増えていると捉えることは難しいと考えています。このため、「目標達成に向けて順調に推移している」という評価に異論はないが、課題もあるという点は指摘しても良いと

思います。

○委員 来訪者の増加について、都市ではなく農村の場合を例にすると、交流人口という言葉があり、これは農村に都市部の人がどの程度観光に訪れているのか、交流している人口がどの程度あるのか、という指標である。このため、同じように交流人口に係る内容で府中市が把握できている実績があれば記載するという方法もあると思います。

○会長 今のご発言はとても良い指摘です。例えば、郷土の森博物館や府中の森芸術劇場の来場者は増えているため、そういった実績値は活用できると思います。

○委員 活用する場合は、府中市外からの来訪者かどうかアンケート等で把握できていれば更に有効的だと思います。

○委員 郷土の森博物館は市内在住と市外在住では料金が違うため、把握できると思います。また、この施設は車での来場者が多いため、電車を利用した実績では掴めない府中市への来訪者を把握することにも意味があると思います。

○委員 桜まつりやくらやみ祭といった特定のイベント開催日で、前年との乗降客数を比較したい場合は、鉄道会社に依頼すれば数値を出してもらえるのでしょうか。

○委員 くらやみ祭については、京王線府中駅とJR府中本町駅に毎年依頼してデータをもらっていると思います。

○委員 そのデータで実績が増えているという事実が確認できれば、イベント開催日における乗降客数が増えたというアピールになると思います。

○委員 RESASには昼間人口の推移が入っているため、そのデータが一番オフィシャルな数値になるものと考えます。

○会長 今までの意見を踏まえて、市の方で有効なデータを探してもらいたいと思います。

また、情報の発信については、最近は活性化してきた印象もありますが、課題であるという評価を記載しても良いと考えます。

○会 長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「地域の連携によるにぎわいの創出」については、申し訳ありませんが、イベント等が続いていたことから、本日までに詳細まで確認してくることができなかつたため、次回までにはきちんと評価したいと思います。1点、「休日のけやき並木通りの歩行者交通量」の現状値と平成27年度実績が同じ数値になっていることが気になりました。

○事務局 このKPIは中心市街地活性化の関係で把握することになった数値であるため、策定時における現状値が既に平成27年度実績になっております。

○担当委員 今の実績の話のとおり、この施策の中心市街地活性化、ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピックの事業はこれからの取組になるため、KPIの実績で評価することはできないと思います。

このため、目標の達成に向けて様々な取組を進めている、という状況を評価することとして、評価は「A」が妥当であると考えています。

○会 長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実」について意見等を述べます。

・「郷土の森博物館及び美術館の入場者数」は増えていて、取組内容として様々な工夫も見られるため、高く評価できると思う。

補足として、多くの方々にリピートしてもらえる施設になるような工夫をしていってほしい。

・「大学やトップチームと連携する事業数」は現状値と同じ実績値だが、平成28年度における取組として、新たに新規事業を開催するということが明示されており、これにより目標を達成する見込みであることから、高く評価できると思う。

ただし、「市特有の事業」と記載されているが、「府中市内で活動しているトップチームとの連携事業である」という点での特有性がわかるように修正すると更に良いと思う。



補足として、事業を継続するとともに、更なる充実に向けて力を入れてほしい。

- ・担当課の評価について、具体的な数値も入っており、分かり易くまとまっているとともに、K P I の項目以外にも関連するような取組も補足的に記載されている点は評価できると思う。
- ・本協議会の評価は「A」が妥当であると思う。

○会 長 府中市総合計画審議会の中でも提案した内容になりますが、最近の美術館は企画内容が良く、多くの人が来場していることから評価できていると思います。しかし、都内の美術館は20時までの開館で、休館日は月曜日という所がほとんどであり、府中市の美術館も同じ状況です。もし、他の美術館が休館日としている月曜日を開館日にすれば、美術に興味がある人が来場する可能性は高いと考えられますので、私の知る限りでは、横浜美術館の休館日は月曜日ではないため、府中市でも検討してほしいと思います。

○会 長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実」について意見等を述べます。

- ・「FU-CHUこそだてサイト『ふわっと』アクセス数」は増えており、自分でも実際にサイトを見てみたところ、非常に見やすいと感じたため、評価できると思う。

平成28年度を取組として「より使いやすいツールとするための見直し・検討」という記載があるが、具体的な内容を教えてほしい。

府中市のホームページを子育て関係で見た人が『ふわっと』に繋がるような仕組みを構築できると良いと思う。また、説明の文章も分かりやすく、目立つようにした方がアクセス数も伸びるはずである。加えて、より使いやすいサイトにするために、『ふわっと』を見た人にアンケートに答えてもらうような仕組みもできれば良いと思う。

- ・「産前産後家庭サポート事業の新規登録世帯」は増えているが、登録世帯数を増やすだけで良いのか、という疑問は残った。
- ・妊婦健康診査は無料だと思っていたが、現在は受診する検査内容が増えていることから費用が掛かっているようなので、少しずつでも是正されると良いと思う。

- ・平成28年度の取組の記載として、「検討を行った」や「配布した」のように過去形の文章があるため、修正の必要がある。
- ・本協議会の評価は「A」が妥当であると考えている。

○事務局 平成28年度の取組における過去形の表現については誤りであるため、修正いたします。

○会長 委員から指摘があった『ふわっと』へのアクセス改善に関する内容は対応すべき問題だと思います。

○会長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「安心して子育てができる環境の整備」について意見等を述べます。

- ・「新生児訪問実施率」は若干下がっているが、実施しなかった家庭状況を把握できているかが重要である。「里帰り先での新生児訪問の利用者の把握に努める」という記載もあったが、虐待防止といった観点からも、実施できなかった家庭についても状況は把握できている、また、指導ができているような状況であれば高く評価できると思う。
- ・「特定教育・保育施設の数」は増えているが、依然として府中市の待機児童は全国的にも相当な高水準であることは事実である。厚生労働省のデータを見ると、近隣の調布市、三鷹市、武蔵野市といった高水準の自治体における待機児童の推移と比較すると、府中市は待機児童を多少なりとも減らすことができている、と言えると思うので、担当課の評価として「待機児童は高水準にあるが、鋭意努力している」のような表現を入れると良いのではないかと。
- ・「安心して出産し、子育てできていると感じている市民の割合」は目標値を達成しているため、高く評価できると思うし、今後も子育て不安の解消を図るために地域の子育てひろばといった取組を継続して実施していけば、数値だけでなく、実際に子育てしやすいと感じている人達が増えていくと思う。
- ・本協議会の評価は「A」が妥当であると考えている。

○会長 私は、待機児童の問題は更に重点的に取り組むべきだと考えています。多少減らすことができていることを評価する考え方もあるが、今後住民が増えて更に保育所が必要になるという潜在的な需要まで考えると、その取組内

容は不十分だと言わざるを得ないと思います。この待機児童の問題は総合計画審議会においても明確な対策を打ち出すべきではないか、という議論もあり、本協議会でもあまり甘い評価はつけないというのが個人的な意見なのですが、いかがでしょうか。

○担当委員 厚生労働省のデータを見ると、世田谷区は昨年1200人近い待機児童の数で飛びぬけている印象があるのに対し、府中市では296人であり、全国的にも高水準ではあるが、世田谷区や近隣市の状況も鑑みると、府中市だけの取組で待機児童を減らせるかという点は難しい問題だと思います。三鷹市、武蔵野市などのデータと比較すると、府中市は保育所の定員増加数はかなり高い数値であるため、確かに高水準ではあるのだが努力はしているという印象も受ける。このため、頑張ってもらいたいというエールを込めた意味での評価ということでもあるのだが、なかなか判断は難しいところです。

○委員 「安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合」の実績は増えているため、KPIは評価「A」となっているが、この50%程度の割合は本当に高い数値と言えるのか疑問に感じる。府中市は本当に多くの子育て施策を実施しているが、知らない人がいる、また、人数制限がある事業であるため利用できない人がいることなどが、安心して子育てできると感じるができない原因であるかもしれない。また、担当課の取組内容に「市内11ヶ所で子育てひろば事業を実施」とあるが、市から助成金を受けているのは4ヶ所だけである。これは予算の関係もあると思うが、アンケート結果では、引越してきた人が子育てひろばに参加したおかげで地域のことをたくさん知ることができた、地域デビューができたという内容も見たことがあるため、こういった地域に根ざした事業を行政側が支援できれば、このKPIの実績も上がってくると思います。この支援とは助成金だけではなく、子育てひろばを『ふわっと』や『子育てのたまたま箱』で紹介するといった方法も考えられます。市が作成する発行物に情報を載せることは難しい面もあるとは思いますが、一生懸命に地域で活動している人達がいることは確かなため、市と市民が協働して気持ちの良い子育て環境を作っていければ良いと思います。

○会長 子育て関連における最近の研究では、施設を充実させるといったハード面が重要であるとともに、社会的ネットワークなどのソフト面も重要であり、その両方が必要であると言われているため、その辺りも評価として記載していく必要があると思います。

なお、先ほどの担当委員から「新生児訪問実施率」のところで実施できなか

った家庭の状況の把握ができていないか、といったご意見がありました。この点も非常に重要だと思います。

○委員 3～4か月健診は97.8%の受診率となっているため、新生児訪問が実施できなかった家庭について、特段大きな問題にはならないと思います。例えば、一人目の子どもは心配で新生児訪問に来てもらうが、二人目からはわざわざ訪問してもらわなくても大丈夫だと考える人達もいるのではないのでしょうか。

○事務局 里帰り出産のため新生児訪問を受けられない場合でも、3～4か月健診を受診しているというケースは多いと思われそうですが、詳細は把握しておりませんので、担当課に確認したいと思います。

○委員 今の議論を聞いていて、評価の全体的な部分に繋がってくる点になりますが、KPIの実績が86%程度ではあるが他の取組でカバーできているという評価のやり方も一つあるとは思いますが、本協議会で策定した（認定した）KPIという数値目標が着実に達成できるのかを毎年度で確認していかないと、そのゴールには絶対にたどり着くことはできないと思います。ゴールの設定値がそもそも高すぎる、あるいは低すぎるといった議論はKPIを定める時点ですべき内容であるため、既にKPIを設定している現時点での議論としては、目標値に対しての評価としてきちんと行うべきだと思います。

○会長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 （特になし）

○担当委員 続いて、私が担当した施策「防災・防犯体制の強化」について意見等を述べます。

- ・「日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合」は減少しているが、府中市防災ハンドブックの配布、広報番組『まるごと府中』や職員の出前講座や地域が行う防災訓練における説明など、取組自体は努力していると評価できる。しかし、平成28年度の取組に「積極的に機会を捉えてPR」とあるため、例えば商店街イベントにおけるブース出展や、ショッピングセンターとのタイアップなど、具体的な施策展開について記載できると良いと思う。また、学生に参加してもらうなど、防災意識を小さい時から育むような企画もあれば良いと思う。

- ・「地域安全リーダー講習会受講者数」は増えているが、補足資料で確認すると高齢の方が参加している状況だった。若年層の防犯活動への参加を促すため、平成28年度の実績に「魅力ある防犯活動」という文章があったが、この表現は違和感があるため、修正した方が良いと思う。  
また、家庭の主婦でも参加できる内容の講習会であるならば、そういった点もアピールする必要があると思う。

○委員 「地域安全リーダー講習会受講者数」は確かに増えてはいるが、若年層がいない状況のため、その評価が「A」でいいのか、という疑問がある。

○会長 今の意見のようにKPIの中身の問題もあり、また、目標値にどうやって近づけて行くのかという観点からも、少し実績が増えたからといった「A」という評価でいいのか、という問題もあると思います。また、担当委員から指摘があった「魅力ある防犯活動」という表現は修正の必要があると思います。

○担当委員 防犯については、小学校で体験教室を実施しているが、それより上の学校では実施していないと思います。親子体験教室など、大人と子どもの両方が参加できる事業があれば、そこから地域安全リーダーに結び付けられることも期待できるのではないかと。また、講習会が昼の時間に開催しているのであれば、働いている親達は参加できないという状況になるため、時間帯は考える必要があると思います。

○委員 このケースであれば実績数値は増えているため、KPI評価は「A」で問題はなく、取組も含めた担当課評価は、講習会参加者の年齢構成といった問題点にもきちんと触れた上で「B」としているため、適切な評価であると捉えることができます。

○会長 今の意見に賛成であり、こういった評価の仕方は全体で意思統一をしておく必要があると思います。このケースでは、1つ目のKPIは数値が減少しているので「B」、2つ目のKPIは数値が増加しているので「A」という評価で問題ないと捉えるが、どうでしょうか。

○委員 本協議会では、KPIはこの実績数値でしか評価はできないため、数値では見えない部分も含めて当該年度の担当課による進捗状況の評価を客観的に見た上で、本協議会として評価することが適切だと思います。このため、

K P I の評価としては単純に、少しでも増えていれば「A」、多少の減り方であれば「B」になると理解すれば良いのではないのでしょうか。

○会 長 今のご意見は非常に明快であります。数値目標に対する評価と、定性評価はきちんと分けて考える必要があります。

○委 員 その通りだと思います。評価は「A」でも、ただし書きで注意してほしい点、また、評価は「C」でもただし書きで良かった点などは記載するべきだと考えます。

○会 長 それでは、K P I は数値目標に対する実績として「A, B, C」という基準のとおり評価し、定性的な評価は担当課の評価内容や取組内容が妥当であるかという視点で行うことで意思統一したいと思います。

○会 長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「公共施設・インフラの計画的な管理及び運営」について意見等を述べます。

- ・「公共施設の市民1人当たりの延床面積」、「公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度」は実績数値から評価「A」で問題ないと思う。
- ・公共施設マネジメントについては、老朽化や厳しい財政状況の中で、少しずつ減らして行こうという流れであり、平成27年度には更に細分化された、例えば府中駅周辺施設再編に関する方針を作る、または、学校施設の更なる活用に向けた基本方針を作り、調査を行うといった記載が取組内容から確認できたため、まだ途中の段階ではあるが、上手く進んでいると感じた。ただし、延床面積の実績が減った理由は具体的に記載した方が良いと思う。
- ・インフラマネジメントは40年をかけて実施する計画となっているため、平成27年度に具体的に実施する事業が明確化されていないが、市民満足度が高いという結果を考えると、評価できると思う。ただし、市民満足度が増加した具体的な要因が見えないため、次年度以降に繋げることを意識して、上手く表現してもらいたい。

○事務局 延床面積の減少について、この時点では明確な施設の廃止等を行ってはいないため、人口の増減や地域の公園の減少等が関係しているものと考え

ております。また、市民満足度については、市民参加によるワークショップ形式で公園に関する取組を進めているような動きもありますが、まだ形になっている状況でもございませんので、具体的に影響した要因は把握できていないところでございます。

○委員 街路樹や公園樹木の適切な維持管理という点で、郷土の森では100本以上の樹木が伐採されています。また、自宅前の公園の樹木が伐採された時に市の担当課に電話で確認してみたところ、近隣住民から要望があり、理事会でも了承されたため伐採したという回答がありましたが、これは樹木の維持管理には費用が掛かる点を考慮し、伐採の要望に応えているのかな、という印象を持ちました。実際には伐採により樹木は減っているとしても、市民満足度としては緑が多いと感じている人は多いという結果が出ているものと理解しています。

○会長 総合計画審議会でも同様の話題になったことがあり、樹木が大きくなり過ぎると、例えば防犯に係る問題が出てくるといった場合もあるため、ある程度は伐採しなければいけない、という担当課職員の説明があったと記憶しています。

○担当委員 先ほど事務局から特定の要因は把握していない、という説明があったが、このケースのように実績が増えている場合は大きな問題にならないが、実績が減って悪くなった場合には要因が特定できないと評価や改善について審議ができないと思います。

○事務局 公共施設マネジメントについては、平成29年度からは再開発ビル内の公共施設の稼働、グリーンプラザと駅前施設の統廃合、また、学校施設の更なる活用の中では地域プールの廃止など、様々な動きが出てくることもございますので、全体的に勘案しながら要因の分析に努めてまいりたいと考えております。

○会長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「地域交流・活動の促進」について意見等を述べます。

- ・「各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数」は増加のため「A」、「市と大学や企業等が協働実施している事業数」は微減のため「B」という評価は妥当だと思う。
- ・平成27年度の取組に関する記載の中で、「前年以上の参加者」、「順調な推移」、「新たな事業の実施や連携事業数を増やす」とあったが、具体的な数値も記載すると良いと思う。  
また、地域まつりの参加者が前年よりも増えた要因として「天候にも恵まれ」とあるが、文化センターごとに催し内容も違うようなので、もし新たに実施した内容などがあればそれが要因として捉えることもできる可能性があるため、可能であれば詳細な情報も記載してほしい。
- ・平成28年度の取組は、明確に実施すべきポイントが整理されていると思うので、もう少し具体的な内容を記載すると良いと思う。

○会 長 本協議会の評価についてはどうでしょうか。

○担当委員 平成27年度の取組と平成28年度の取組方針を確認する限りでは、ポイントも整理されて記載されていると思うため、担当課評価と同様に「B」が妥当だと考えます。

○会 長 「市と大学や企業等が協働実施している事業数」については、実績として何が減ったのか知りたいです。また、総合計画審議会において、大学との連携について意見が出ていましたので、積極的な取組に期待したいと思います。

○会 長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

○担当委員 続いて、私が担当した施策「空き家などの活用」について意見等を述べます。

- ・平成27年度の取組は方針を検討する段階であり、評価は「C」となっているが、これは事業が開始したばかりであるためであり、厳密には遅れが生じている状況でもないと思うので、「C」でなくても良いと思う。
- ・調べてみると、空き家関連の国の助成金制度もあるようなので、活用してもらおうとともに、できるだけ他市の事例を集めてもらい、有効的な内容があればモデル事業として立ち上げるなど、積極的に取組を進めてほしい。



○会 長 K P Iについては「実施する」という目標に対し、現状が「未実施」であることから、評価は「C」になってしまうが、平成27年度は取組もまだ進んでいない状況であることから、定性評価としても「C」となることは仕方ないことかと思えます。

現在、設置されている府中市空家等対策協議会ではどのような議論が進んでいるのでしょうか。

○事務局 協議会は今年度の7月に発足しております、まずは空家としての現状の洗い出し、その先に活用という流れになるものと思えます。他市で活用事例があることは認識しておりますが、府中市でも議論が深まっていく中で、調査や視察といった取組が出てくるものと考えております。

○会 長 他に何か意見等がありますか。

○委員一同 (特になし)

#### 【その他】

○会 長 事務局から何かありますか。

○事務局 次回の会議につきましては、3月27日(月)午後3時から、会場は本日と同じく北庁舎3階第1・2会議室を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

○会 長 以上をもちまして、平成28年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を閉会いたします。委員の皆様、お疲れ様でした。